

平成22年度資源評価票(ダイジェスト版)

標準和名 サメガレイ

学名 *Clidoderma asperrimum*

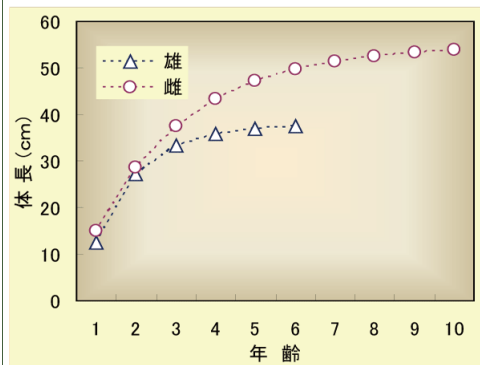
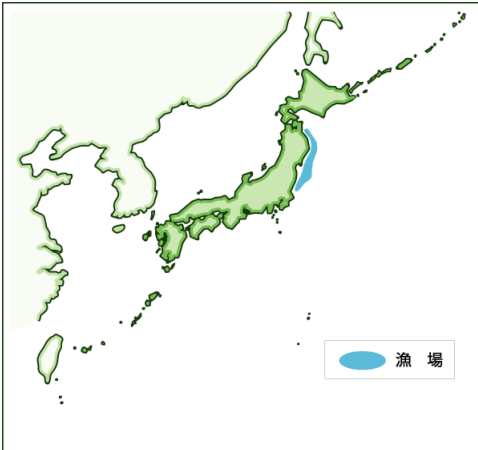
系群名 太平洋北部

担当水研 東北区水産研究所



生物学的特性

寿命: 雄9歳、雌13歳
成熟開始年齢: 雄2歳、雌3歳
産卵期・産卵場: 1～2月、水深600～900mの深海域
索餌期・索餌場: 周年
食性: クモヒトデ類
捕食者: 不明

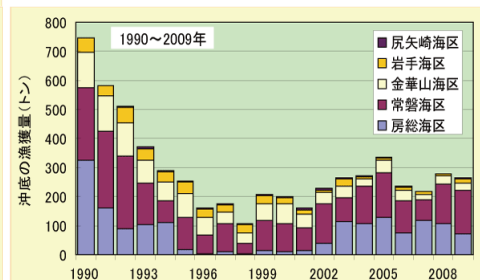
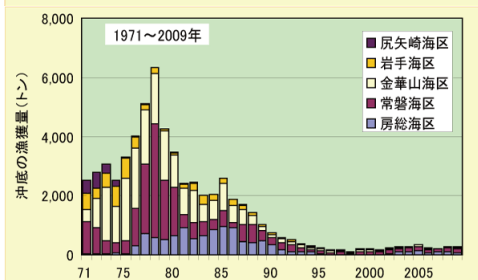
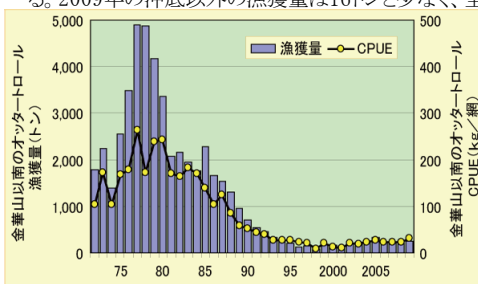


漁業の特徴

太平洋北部では、サメガレイは主に沖合底びき網漁業(沖底)により漁獲されており、他の漁業種類による漁獲量は極めて少ない。沖底の海区別漁獲量をみると、金華山・常磐・房総海区(宮城～茨城県沖合)での漁獲が大部分を占めている。また、宮城県では、サメガレイの漁獲は2月前後の産卵期に集中しており、産卵親魚に対する漁獲圧が高いと考えられている。

漁獲の動向

沖底によるサメガレイの漁獲量は、1978年の6,329トンピークに減少を続け、1998年には最低水準の108トンを記録した。その後、やや増加し、2009年には263トン(暫定値)となっているが、過去5年はほぼ横ばい傾向で推移している。2009年の沖底以外の漁獲量は16トンと少なく、全漁業種類合計の漁獲量は279トン(暫定値)となっている。

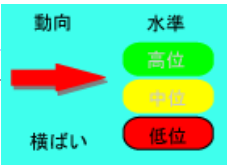


資源評価法

トロール調査による採集個体数は少なく、調査によって十分な精度の資源量推定値を得ることは困難である。そのため、漁獲量に加え、沖底の主要な漁場である金華山海区以南(金華山・常磐・房総海区)のCPUEの推移により資源評価を行った。

資源状態

沖底によるサメガレイのCPUEは低い水準で推移しており、資源状態は低位水準にあると考えられる。過去5年のCPUEは横ばい傾向にあり、資源動向は横ばい傾向と判断される。

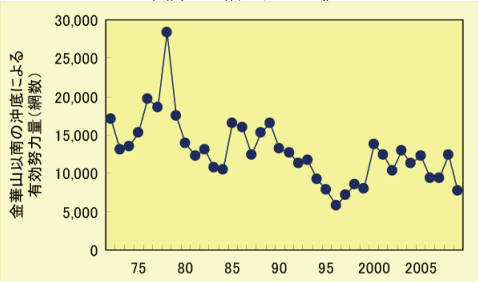


管理方策

産卵期に集中的に漁獲されることから、産卵親魚を保護して資源量を増加させることが必要である。本報告では、親魚量を確保することを資源管理目標とし、近年の漁獲量の平均に0.86 (CPUEの変化率×0.8) を乗じたものをABClimitとした。

	2011年漁獲量	管理基準	F値	漁獲割合
ABClimit	220トン	0.86Cave3-yr	—	—
ABCTarget	180トン	0.8・0.86Cave3-yr	—	—

- Caveは2007～2009年の平均
- ABCは10トン未満を四捨五入した値



資源評価のまとめ

- 資源は低位水準にある
- 近年の資源は横ばい傾向にある
- 漁獲が産卵親魚に集中している

管理方策のまとめ

- 産卵親魚の確保が必要
- サメガレイが産卵のために集群している場所での操業自粛が必要
- 2008年級群の加入量が多い可能性があり、今後の動向を注視する必要がある

執筆者: 服部 努・伊藤正木・成松庸二・稲川 亮

資源評価は毎年更新されます。